

# I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」 第二回実証実験を開始します！



快適な暮らしをサポートし、将来の社会課題の対応を目指すI・TOP横浜「未来の家プロジェクト」は平成29年12月から平成30年2月までの間に住環境のデータ収集を目的として旭区で実施した実証実験を踏まえ、第二回を泉区緑園で開始します。

今回はグリーンブルー株式会社、三和シャッター工業株式会社、株式会社資生堂、凸版印刷株式会社、foo.log株式会社が新たなメンバーとして加わり、設備の拡充と広範なデータ収集を図り、より充実した結果を求めます。

※本実験は「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市※<sup>1</sup>」事業の一環です。

## 1. 実証実験の概要

### (1) 実証実験の内容

IoTスマートホームにて1週間通常通りの生活をしてもらい、実験前後での被験者の状態変化、意識変化、行動変容について評価・検証を行います。

**【実証期間】** 平成30年6月12日（火）から平成30年9月24日（月）まで

※ 本人同意の上、収集したデータは匿名化をして今後の実証実験の参考にします。

### (2) 前回の実験からの追加要素

IoT建材による位置検出や機器制御、撮取した内容に基づく食事アドバイス、美容デバイス・環境測定装置やIoTシャッターを新たに追加します。

※詳細は裏面をご確認ください。



実験実証を行うIoTスマートホーム

### (3) 場所

横浜市泉区緑園 4-3-28 相鉄文化会館敷地内

## 2. 第一回実証実験結果

現在、データからは居住者ごとに生活行動の一定の傾向がみられること、アンケートから健康意識の変容があったことが把握できています。

今後分析を重ねて定量的な評価を行い、公表を目指してまいります。

## 3. 現地取材について

メディア向けの見学は7月12日（木）を予定しております。

詳細が決まり次第情報提供いたします。

お問合せ先			
経済局新産業創造課長	高木 秀昭	Tel 045-671-3913	
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課 担当課長	大蔭 直子	Tel 045-671-2477	
建築局住宅再生課 担当課長	竹下 幸紀	Tel 045-671-4458	

※本件は、未来の家プロジェクト参画各社と同日発表しています。

【裏面あり】

# 未来の家プロジェクトの概要及び役割

未来の家  
プロジェクト

IoTと人工知能(AI)を通じて高齢者の見守りや  
快適で健康的な暮らしを実現するプロジェクト

IoT横浜  
IoT Open Innovation Platform YOKOHAMA

 <p>横浜市 City of Yokohama</p>	<p>企業へのプロジェクト 参加呼びかけ、実証実験 場所の調整</p>		<p>デバイスで操作できる 化粧品吐出マシンの提供</p>
	<p>IoTスマートホーム<sup>®</sup>、IoT アクセス制御エンジンの 提供、データの管理・解析</p>		<p>実証場所の提供、 地域コミュニティへの展開</p>
	<p>UI,UXデザイン、IoTプロ ダクトの事業化、事業化に 関するノウハウ提供</p>		<p>床のセンサーで居住者の 動作情報を収集できる IoT建材によるセンシング</p>
	<p>環境測定装置の提供、 室内外の空気質の計測、 センサーの妥当性評価</p>		<p>被験者の健康状態を測定 し、健康アドバイスを行う デバイスを提供</p>
	<p>デバイスで操作できるIoT シャッターの提供</p>		<p>食事解析システム・アド バイスの提供</p>

## 第二回実証実験における主な追加・変更内容

### IoTシャッターの設置

デバイスで操作できる  
シャッターの設置  
(三和シャッター工業)



### 美容デバイスの設置

デバイスで操作できる  
化粧品吐出マシンの設置  
(資生堂)



### 食事アドバイス

摂取した食事画像を解析  
し、アドバイスを提供  
(foo.log)



### 環境測定装置の設置

屋外に環境測定装置を設置、  
室内との差異を計測  
(グリーンブルー)



### IoT建材によるセンシング

床のセンサーで居住者の  
動作情報を収集。  
(凸版印刷)



# I・TOP横浜 「スポーツデータみらいデザインラボプロジェクト」始動！ ～ キックオフ・イベントを開催 ～

「I・TOP横浜」の取組として、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科および富士通株式会社と共に、スポーツに関するデータ活用の価値向上を目的とした「スポーツデータみらいデザインラボ」プロジェクトを開始します。「I・TOP横浜」では、この取組を通じて、新たなビジネスの創出を目指します。

近年、様々なセンサの高機能化・小型化により、トップアスリートでなくてもスポーツでのコンディショニングやパフォーマンスに関するデータ（以下、スポーツデータ）を収集できるようになってきています。しかし、それを目的に応じて適切に収集するスキルや知識は広まっておらず、「容易」かつ「セキュア」に保存・分析する環境も整っていません。また、データ活用するためには、スポーツやデータの価値を理解し、どのような未来を実現したいのかを考え、対話し考える場が必要です。

スポーツデータみらいデザインラボでは、スポーツに関係する多様な方々と共に対話や実証を継続的に実施することで、スポーツデータ活用の未来をデザインします。また、実際に、横浜市をフィールドとしてスポーツデータ活用による怪我の予防や、トレーニング手法の構築、スポーツ観戦機会の向上などにつながる取組をラボメンバーによる共創型の取組で推進し、事業創出も目指します。スポーツがより身近で楽しくなる未来の実現のため、システムデザインのプロセスや手法も活用し、多様な方々と共に「データ」と「対話」を軸にした継続的な取組を実施いたします。

## 1 取組の概要



## 2 キックオフイベントの開催

本ラボが大切にする「データと対話」はどのようなものなのか、体験いただく「キックオフイベント」を開催いたします。

### 【キックオフイベント】「共につくるスポーツの未来」

日時：平成30年7月4日（水）14:00～17:30

場所：株式会社富士通エフサス みなとみらい Innovation & Future Center  
（横浜市西区みなとみらい2丁目3-3クイーンズタワーB9階）

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 I・TOP 横浜「スポーツデータみらいデザインラボ」についての紹介</li><li>2 講演：共につくるスポーツの未来<br/>「日本から世界へ：ラグビーワールドカップ2019に向けたサンウルブスでのデータ活用」<br/>一般社団法人ジャパンエスアール 代理理事 CEO 渡瀬 裕司氏<br/>「まちをデザインするときに必要なこと」<br/>株式会社ロフトワーク 共同創業者/代表取締役 林 千晶氏<br/>「対話で拓くスポーツの未来」<br/>株式会社フューチャーセッションズ/慶應義塾大学大学院 SDM 研究所研究員 上井 雄太氏<br/>パネルディスカッション「共につくるスポーツの未来」：モデレータ 神武 直彦教授</li><li>3 スポーツデータ活用ワークショップ</li></ol> |
|--|

※ネットワーキング 17:30～19:30

イベント終了後、有志によるネットワーキングを開催します（会費 1,000 円）。

お問い合わせ先：富士通株式会社（テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部）

Tel 03-6252-2552

## 3 申し込み方法

つぎのホームページより、7月2日（月）までに参加の申し込みをお願いいたします。

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=1056>

※定員（60名）を超えた場合には、お申し込みいただけない場合がございます。ご了承ください。

## 4 その他

取材をご希望される方は、直接会場までお越しください（ネットワーキングを含めて取材いただけます。）。

<b>お問合せ先</b>
経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

# I・TOP横浜オープンフォーラム

## 7月23日（月）開催！

平成29年4月に立ち上がったI・TOP横浜（裏面参照）ですが、6月のキックオフイベントには約650名の参加者があり、現在、会員数は300社・団体を超えています。

I・TOP横浜オープンフォーラムでは、地域交通課題解決を目指した「自動運転プロジェクト」や生活空間・住空間での課題解決を目指した「未来の家プロジェクト」など、これまでに行われた様々な取組み成果の発表を行うとともに、I・TOP横浜の今後の取り組みについて説明します。

また、中小製造業でのIoT活用や国家戦略特区、ヘルスケアなどを様々なテーマによるセミナーやパネルディスカッションを行い、IoTに関心を持つ方々への情報提供により新たな参画を働きかけるとともに、参加者同士の交流・連携を促進します。

### フォーラム概要



- 日時 : 平成30年7月23日（月）13:30～17:15
- 会場 : パシフィコ横浜 会議センター5階（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
- 定員 : 700名（先着順）
- イベント詳細および申込み <http://itop.yokohama/>のイベント情報より

### 全体会 13:30～14:40

- ・挨拶 横浜市・経済産業省・総務省（予定）
- ・I・TOP横浜セカンドステップ 横浜市経済局長 林 琢己

### 基調講演

## テーマ：インターネット前提社会

慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長 環境情報学部教授 **村井 純 氏**

### 講演者プロフィール

工学博士（慶應義塾大学・1987年取得）。

1984年東京工業大学と慶應大学を接続した日本初のネットワーク間接続「JUNET」を設立。1988年にはインターネット研究コンソーシアム WIDE プロジェクトを発足させ、インターネット網の整備、普及に尽力。初期インターネットを、日本語をはじめとする多言語対応へと導く。内閣高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 総合戦略本部）有識者本部員、内閣サイバーセキュリティセンターサイバーセキュリティ戦略本部本部員、社団法人情報処理学会フェロー、日本学術会議第20期会員。その他、各省庁委員会の主査や委員などを多数務め、国際学会等でも活動。日本人で初めてIEEE Internet Awardを受賞。ISOC（インターネットソサエティ）の選ぶPostel Awardを受賞し、2013年「インターネットの殿堂（パイオニア部門）」入りを果たす。「日本のインターネットの父」「インターネットサムライ」として知られる。



裏面あり

## 成果報告会および分科会 14:55～17:15

プログラム		テーマ
I・TOP 成果報告	会場A	中小製造業におけるIoT導入先進事例の紹介
		未来の家プロジェクトの現状と今後について
		自動運転等モビリティ実証実験の取組み (日産自動車株式会社・株式会社ディー・エヌ・エー)
分科会	会場B	国家戦略特区制度概要と事例紹介 (内閣府・横浜市経済局)
		次世代産業創出事業について (仮)IoTとSDGsについて (一般社団法人未来技術推進協会)
	会場C	SDGs未来都市の取組み (横浜市温暖化統括対策本部)
		IOTの国際標準化とセキュリティ
会場D	LIP. 横浜ヘルスケアビジネス創出に向けて	

※テーマや講演内容は変更となる場合があります。

※分科会の詳細については、WEBサイトで随時お知らせいたします。

### ○交流会 17:30～19:00

各講演会終了後に軽食を伴う交流会を開催し、参加者同士の交流を行います。

定員：200名

参加費：3,000円

### ○取材の申込み

別紙「取材申込書」に記載のうえ、7月19日(木)正午までにFAXまたはEメールで送付してください。

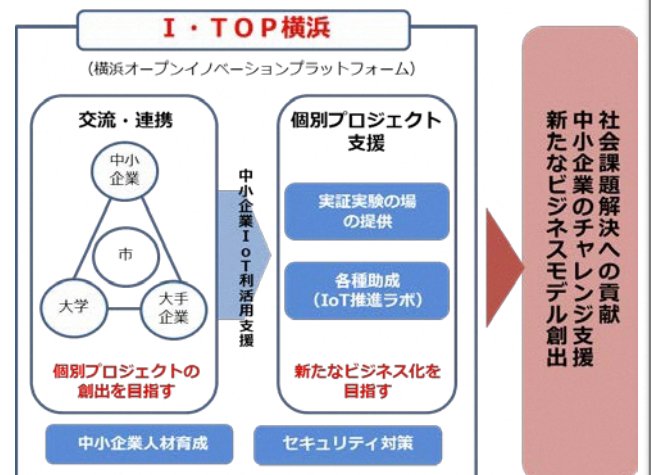
## I・TOP横浜 (IoTオープンイノベーション・パートナーズ) とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

I・TOP横浜ウェブサイト：<http://itop.yokohama/>



キックオフイベントの様子 (2017.6)



### お問合せ先

(オープンフォーラムについて)	経済局新産業創造課長	高木秀昭	Tel 045-671-3913
	経済局ものづくり支援課長	中村隆幸	Tel 045-671-3839
(交流会について)	横浜企業経営支援財団経営支援部	加藤盛司	Tel 045-225-3733

## 世界的なコミュニティ型ワークスペース運営事業者 「WeWork」が、横浜への進出を決定！

このたび、世界22か国、274か所にコミュニティ型ワークスペースを展開する米国企業「WeWork」の日本法人「WeWork Japan」が、横浜・みなとみらい21地区に大型コミュニティ型ワークスペース「WeWork Ocean Gate Minatomirai」を設置することが決定しました。

WeWork Japanとしては、東京（丸の内、銀座他）に続き、日本国内で2都市目の展開となります。

WeWork Ocean Gate Minatomirai 概要	
所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目7-1 OCEAN GATE MINATO MIRAI
開業日（予定）	平成30年11月
規模（予定）	入居ビルの7階から10階部分（約2,800席）

<b>会社概要</b>	<p>商号：WeWork Japan 合同会社            代表者：CEO クリス・ヒル            事業内容：コミュニティ型ワークスペースの開発・運営            ホームページ：<a href="http://www.wework.com">http://www.wework.com</a></p>	 <p>(イメージ)</p>
-------------	--	--

### 林 文子 横浜市長コメント

世界的にコミュニティ型ワークスペース事業を展開するWeWork様が、新たな事業展開の場に横浜を選ばれたことを、大変嬉しく思います。グローバル企業をはじめ多様な機能の集積が進むみなとみらい21地区が創造的な働き方にふさわしい街として評価されたものと、感謝しています。

横浜市はかねてから、「I・TOP横浜」「LIP.横浜」など、産官学のネットワーキングによるオープンイノベーションとビジネス創出に取り組んでおり、今後も企業間の連携を一層促進することを目指しています。このたび設置される「WeWork Ocean Gate Minatomirai」が企業間のコラボレーションを促し、新たなイノベーションの創出拠点になること、またビジネスエリアとしてのみなとみらいの魅力が一層高まることを、強く期待申し上げます。

#### お問合せ先

経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

